



全国で続々!

党地方議員が
13名誕生!

今年、幸福実現党では4名の地方議員が誕生し、党公認の地方議員が13名となりました。

ご支援いただいた皆様や、クロス・オーバーにご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、地域の幸福と繁栄のため地方選に勝利し、次期衆院選など国政選の勝利を目指してまいります。

党の都道府県本部体制
の構築について幹事長(兼)選対委員長
松島 弘典

「より公党としてしっかり発展していく」という理念のもと、去年末より各都道府県本部を一新させました。

具体的には、各都道府県の代表を新たに任命し、県代表の下に執行部を作りました。執行部のなかに、幹事長、事務長、財務部長、広報部長、ポスター担当、経理担当といった役職担当者が含まれています。そして、この各都道府県本部の下に、新たに支部を作りました。

今、こうした県本部の執行部に、党地方議員や、衆議院、参議院の候補者といった方が入り、各県ごとの組織が大きく活動しようとしております。このような体制で、2020年までに400名の地方議員を輩出していきたいと思います。そして来るべき国政選に必ずや勝利を収めてまいります。

都道府県本部 代表者			
北海道	野市 裕司	富山県	吉田 かをる
青森県	竹野 一正	石川県	宮元 智*
岩手県	佐々木 栄一	福井県	白川 康之
宮城県	油井 哲史	長野県	及川 幸久
秋田県	佐藤 純郎	岐阜県	加納 有輝彦
山形県	城取 良太	静岡県	石田 勝也
福島県	矢内 筆勝	愛知県	中根 裕美
茨城県	川辺 賢一	三重県	野口 隆
栃木県	阿久津 秀昭	滋賀県	西邑 一彦
群馬県	蓮沼 純	京都府	山岡 博明
埼玉県	小島 一郎	大阪府	吉良 洋
千葉県	中 幸四郎	兵庫県	湊 侑子
東京都	吉井 利光	奈良県	田中 道彦
神奈川県	小又 英雄	和歌山県	西本 篤*
山梨県	宮松 宏至	島根県	田中 一隆
新潟県	横井 基至	鳥取県	菅田 千賀子

※は都道府県本部代表代行

立党8周年

立党8周年を迎えるに心より感謝を申し上げます

こうして立党8周年を迎えることが出来ましたのは、全国の党员の皆様、ご家族の皆様、そしてご支援くださる皆様のおかげでございます。この場をお借りいたしまして、心の底より感謝申し上げます。ありがとうございます。

本年一年を飛躍の年とすべく、全国の皆様と総決起を誓い、新しい日本のために戦っていく所存でございます。今後とも、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



党首

糸 量子

党員限定版「幸福実現NEWS」の
季刊化(年4回発行)のお知らせ

このたび、党員限定版「幸福実現NEWS」は、本号より季刊化(年4回発行)する運びとなりました。今後とも一層みなさまのご期待に応え、幸福維新実現に向けた誌面作りに邁進してまいります。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

※レギュラー版「幸福実現NEWS」(A3サイズ/モノクロ両面)につきましては、今後は、月2回程度、各支部にデータにて配信してまいります。

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁
大川隆法

金正恩の暴走、習近平の覇権主義、そしてオバマが招いた世界の紛争拡大……世界の政治指導者たちの本質を見抜いてきた
「公開靈言」シリーズ最新刊！

韓国文在寅
ムン・ジェイン
守護靈インタビュー
定価1,512円(税込) 幸福の科学出版刊

※レギュラー版「幸福実現NEWS」(A3サイズ/モノクロ両面)につきましては、今後は、月2回程度、各支部にデータにて配信してまいります。

幸福の科学出版 0120-73-7707 http://www.irhpress.co.jp/

一緒に変えよう。政策はある。

幸福実現NEWS

4.30 第8回 幸福実現党全国大会

in日本消防会館

4月30日、幸福実現党は全国大会を開催致しました。

大会の始めに、党創立者である大川隆法総裁が登壇。

その後、糸量子党首による挨拶や、松島弘典幹事長による党務報告、都議選公認候補予定者の紹介、来賓・田村聰さんのスピーチなどが行われ、大会は熱気に包まれました。

大川隆法総裁

「立党8年目の真実」

大川隆法総裁は、「立党8年目の真実」と題する講話のなかで、緊迫化する北朝鮮問題の見通しと、その後の国際社会の構想を語りました。

日本をリードしてきた
幸福実現党の先見性

講話冒頭、大川隆法総裁は、立党からの歩みを振り返りました。

幸福実現党立党のきっかけとなったのは、2009年の北朝鮮のミサイル発射実験です。

当時、政府やマスコミは、「飛翔体の発射」と、あたかもミサイルではないかのような報道を行いました。それから8年、政府は北朝鮮によるミサイル発射を明言して非難するほか、全国瞬時警報システム(Jアラート)によって、国民への警告を呼びかけるに至りました。

こうした国論の変化や、民主党政権(当時)誕生以降の国論の保守回帰、自民党が2~3年遅れるかたちで幸福実現党の政策を追ってきている状況などを指摘し、「オピニオン性、影響力という意味では、日本を

大川総裁は、北朝鮮との外交は話し合いでは解決できないことを指摘したうえで、米国による武力行使の可能性に言及。その理由として、中国・ロシアが参戦し、北朝鮮問題が泥沼化するリスクを挙げました。

さらに、北朝鮮の金正恩体制が崩壊した場合、「自由の創設」のもと、北朝鮮二千万人超の国民に政治的な自由、経済的自由、思想・信条・言論の自由を与えることを第一段の目標としつつ、第二段の目標として、「北朝鮮の崩壊を見て、中国が民主化・自由化を進めざるえないような国際的な環境、思想的包囲網をつ



くっていくことが大事です」と方向性を示しました。

また、「第三段階は、イスラム圏との衝突の部分をどのように終わらせていくかというところだと思います」との世界戦略を述べ、幸福実現党が果たすべき使命を明らかにしました。

アジアの自由と平和は
幸福実現党が守る

大川総裁は、戦争が迫るなかで法人税・所得税の大減税を掲げるトランプ政権の姿勢を評価し、「景気を良くして、国民を職につけ、高収入を得て、税金を納めてもらう」という考えだろうと思います。“トランプノミクス”を見て、日本のるべき方向が、財務省が言っている方向だけでないことを知ってくださいね」と、「増税頼み」の日本の財政施策に対する見解を述べました。

最後に、「日本人の今後の生存と、アジアの本当の意味での平和は、幸福実現党にかかると思います」「幸福実現党が、この地上に存在する限り、世界は『自由』『民主』『平和』が最終的には続いているかたちになると思います」と講話は締めくされました。



